

医療の現場に、未来に、安全を

**HOGY**<sup>®</sup>

# 第64期（2025年3月期）第2四半期決算説明会

2024年10月16日(水)

## 株式会社ホギメディカル

代表取締役社長  
取締役 最高財務責任者

川久保 秀樹  
藤田 泰介



## 将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

ファンダメンタルズ  
(不安定)



- 国内経済は賃上げが後押しし緩やかに回復基調
- 資源、エネルギー、原材料高は続く
- 為替水準は不安定なまま推移

顧客環境  
(集中化)



- 外来・入院患者がコロナ前水準に戻らず
- 高度急性期病床の増加傾向
- 急性期充実体制加算は要件の厳格化
- 経費の増加と新型コロナ公費終了により病院経営悪化
- 働き方改革でタスクシフトの動き

自社状況



- 新経営体制へ移行
- 中期計画の実行プログラムがスタート
- 株主還元の実施
- 組織体制の整備・専門人員の採用

● **売上高**：19,619百万円、前年比 100.4%

- ・プレミアムキットは前年比123.2%成長するも、キット製品全体では同102.3%にとどまる
- ・新製品はREVICE（単回使用医療機器再製造事業）、OPERA-Note等で活動強化

● **営業利益**：2,083百万円、前年比 87.7%

- ・新工場Ⅱ期の減価償却額が減少
- ・円安影響による原価悪化
- ・構造改革に伴う棚卸資産の廃棄・評価減 ※2Q発生

● **当期純利益**：1,867百万円、前年比 107.8%

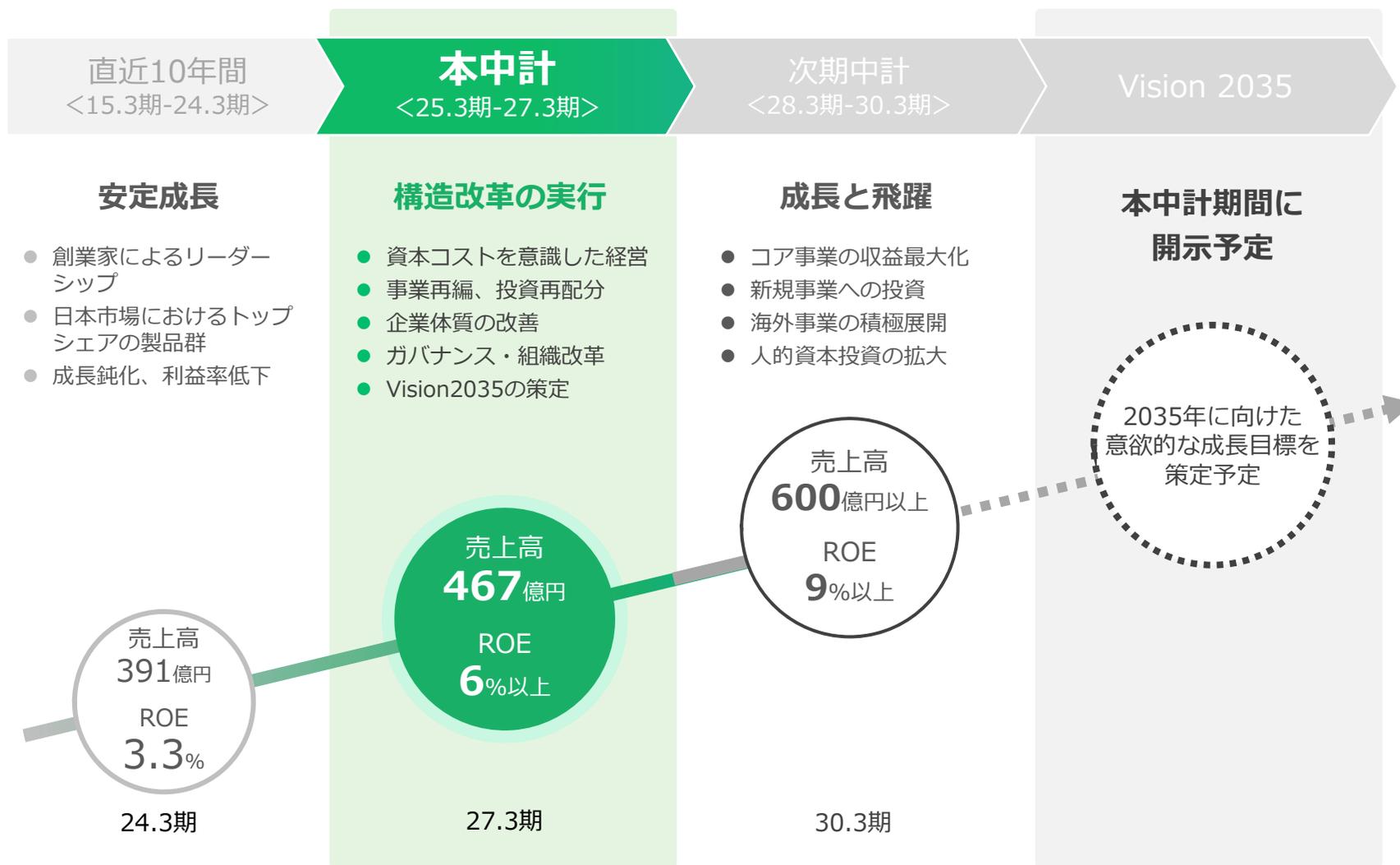
- ・政策保有株式の売却益 ※2Q発生

● **通期計画**（変更なし）

売上高：40,850百万円（前年比 + 1,749百万円, 104.5%）

当期純利益：3,310百万円（前年比 + 505百万円, 118.0%）

本中期経営計画期間は、「Vision 2035」の策定とその達成の土台となる強固な経営基盤を構築するための抜本的な構造改革を実行するフェーズと位置付けている





- |  |   |  |
|--|---|--|
| <p>実施事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自己株式の取得・消却</li> <li>✓ 政策保有株式の売却</li> <li>✓ 投資委員会の発足・始動</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 他社協業による販路拡大</li> <li>✓ 組織体制の整備</li> <li>✓ 専門人員の採用</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 意思決定プロセスの見直し</li> <li>✓ 議論・情報共有の充実</li> <li>✓ 諮問機関の整備・始動</li> </ul> |
|--|---|--|

現在の取組み

## 中期経営計画達成に向けた11の実行プログラム

- |        |        |              |        |                    |        |
|--------|--------|--------------|--------|--------------------|--------|
| ① 製品戦略 | ② 海外戦略 | ③ 営業改革       | ④ 生産改革 | ⑤ 調達改革             | ⑥ 財務戦略 |
| ⑦ 人事戦略 | ⑧ DX   | ⑨ Vision2035 | ⑩ 内部統制 | ⑪ ステークホルダーエンゲージメント |        |

来春までに制度改革

中計説明のフォローアップとして12月にIR工場見学会を予定

# 決算概要

—



# 第64期（2025年3月期）上期 損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	23.9 63期上期実績		24.9 64期上期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	19,536	100.0%	19,619	100.0%	82	100.4%
売上原価	12,597	64.5%	13,260	67.6%	662	105.3%
売上総利益	6,938	35.5%	6,358	32.4%	△579	91.6%
販売費及び一般管理費	4,563	23.4%	4,275	21.8%	△287	93.7%
営業利益	2,375	12.2%	2,083	10.6%	△292	87.7%
営業外損益	△2		△47		△45	
経常利益	2,373	12.1%	2,036	10.4%	△337	85.8%
特別損益	39		565		525	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,732	8.9%	1,867	9.5%	135	107.8%
E P S	71.40円		80.58円			

## ● 増収増益

### ● 売上高：増収

プレミアムキットは増売も置換により  
従来キットは減少

### ● 営業利益：減益

円安の影響による原価率上昇と構造改革  
の一環として長期滞留品の廃棄・評価損  
を行い利益を圧縮

### ● 当期純利益：増益

#### 原価

: 67.6%(前年比+3.1pt)

#### 〈悪化要因〉

- : 円安による影響
- : 長期滞留品の廃棄・評価損

#### 〈改善要因〉

- : 前期4月開始の新工場Ⅱ期稼働に伴う償却費の減少

#### 販売管理費

: △287百万円（6.3%減）

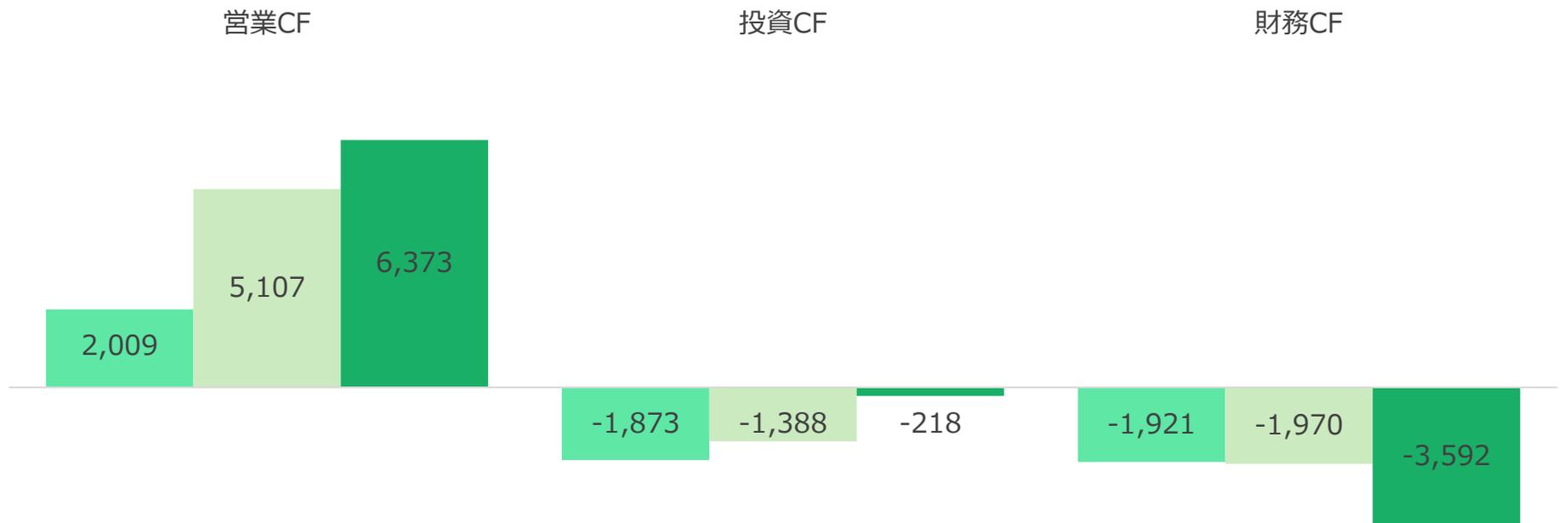
- : 人件費の減少

# 第64期（2025年3月期）上期 連結キャッシュフローの増減



(単位：百万円、端数：切捨て)

■ 2023.9期 ■ 2024.3期 ■ 2024.9期



いずれも直近6か月	2023.9	2024.3	2024.9		2023.9	2024.3	2024.9		2023.9	2024.3	2024.9
当期純利益	2,413	1,662	2,601	有価証券の売却による収入	-	-	1,114	長期借入れによる収入	-	-	10,000
減価償却費	3,295	3,312	2,831	有形固定資産の取得による支出	△1,612	△1,073	△1,396	長期借入金の返済による支出	△999	△999	△999
投資有価証券の売却益	-	-	△1,097					自己株式取得による支出	-	△0	△11,622
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,096	356	867					配当金の支払額	△921	△970	△970
仕入債務の増減額 (△は減少)	△389	348	△428								

● 2024年9月末における現金及び現金同等物期末残高は、2024年3月末比+32億円の218億円

# 第64期（2025年3月期）上期 貸借対照表 増減のポイント



単位：億円 端数：切捨て		24.3期末	24.9期末	増減
資	現金預金	194	226	32
	その他流動資産	236	226	△9
	流動資産	430	453	23
	固定資産	570	541	△28
	資産合計	1,000	994	△5
負	流動負債	82	93	10
	固定負債	56	143	87
	負債合計	139	236	97
純資産合計		861	757	△103
負債純資産合計		1,000	994	△5
自己資本比率		86.1%	76.2%	

- ・ 建物及び機械：減価償却による減少
- ・ 建設仮勘定：インドネシア工場取得

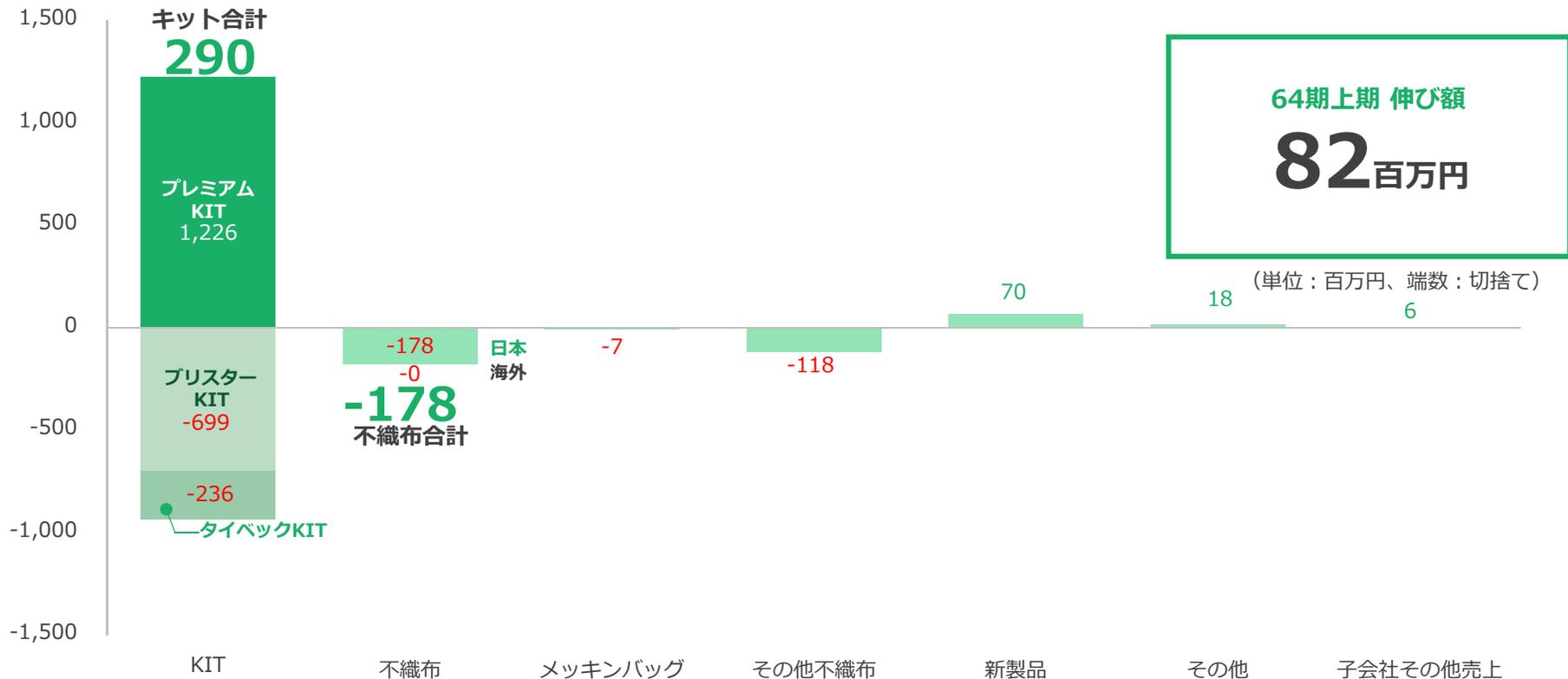
- ・ 長期借入金の増加

- ・ 自己株式の取得および消却
- ・ 政策保有株式の一部売却

■ 固定資産 ■ 流動資産 ■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債



# 第64期（2025年3月期）上期 主な製品の売上高増減



## ● プレミアム：前年比23.2%売上拡大、数量では24.6%の増加

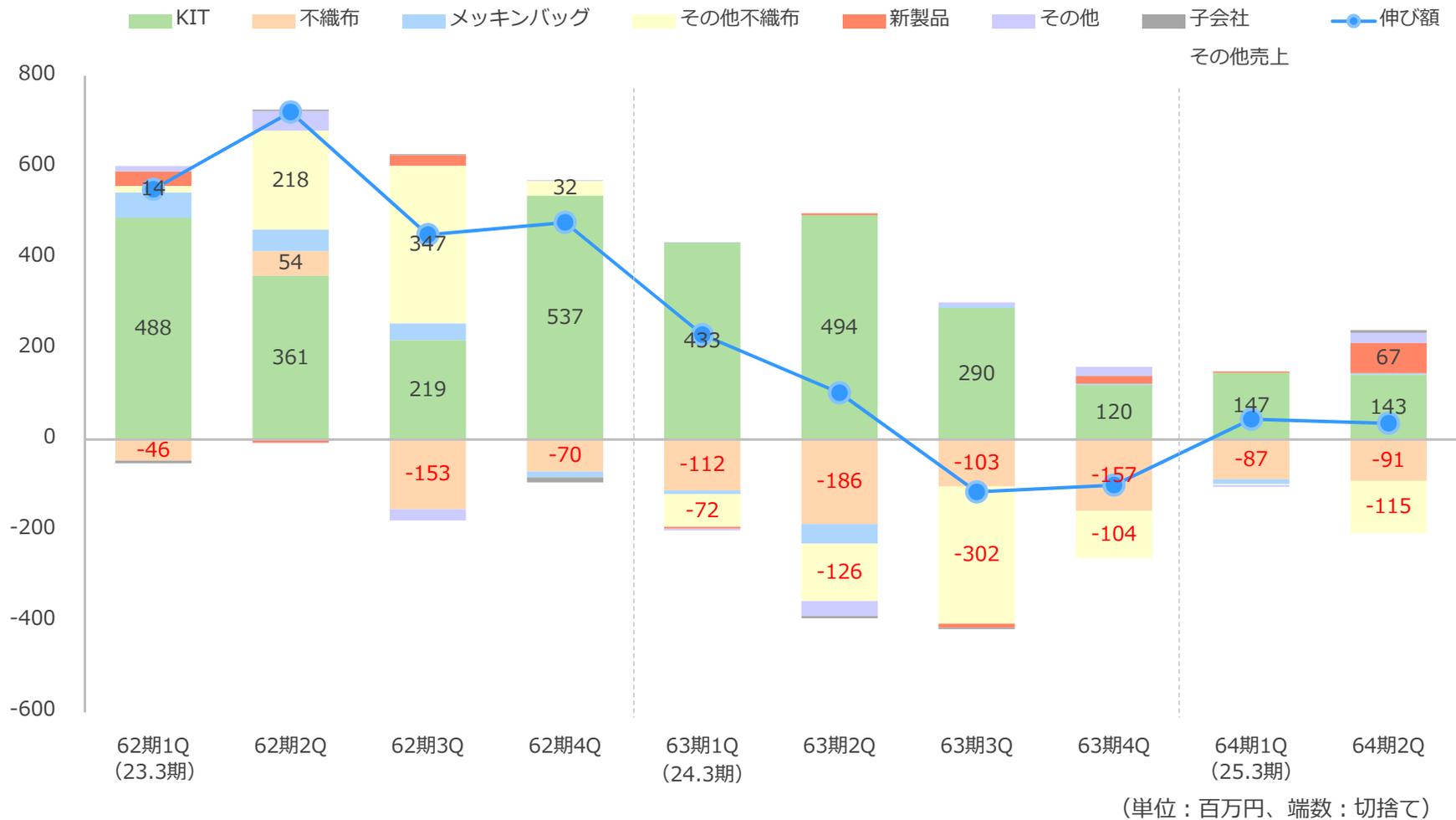
▶ブリスター：プレミアムキットへの置換で数量減少

▶タイバック：2023年3月期に実施の価格改定によるプラス影響の一巡と継続してプレミアムキットへの置換により数量減少

● 不織布製品は2022年10月よりガウン製品の価格改定を実施したことで、販売数量の減少が続く

● (リスク) 病院経営難の影響を受け、価格見直し要請

# 第64期（2025年3月期）四半期別売上高伸び額の内訳

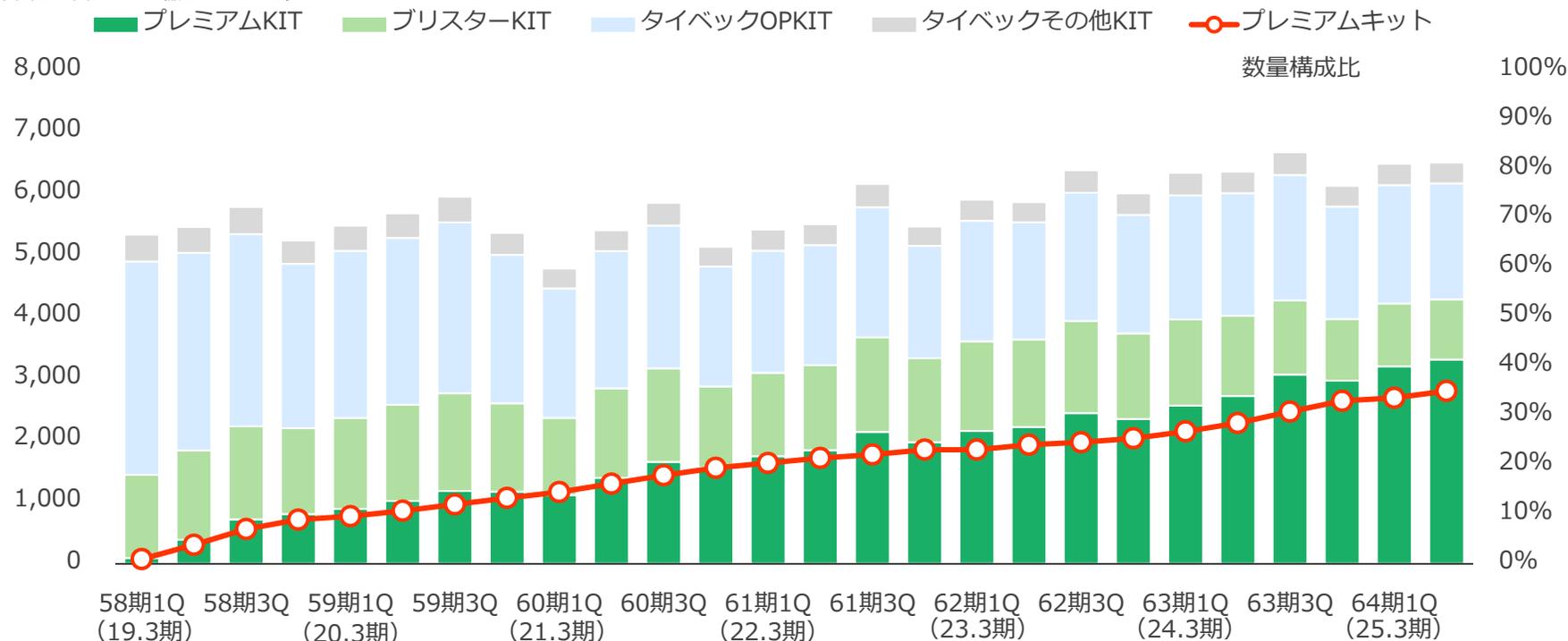


- キット製品はプレミアムキットで増売したものの、置換によりプリスター・タイベックキットの売上高は減少
- プレミアムキットは新規獲得の兆しが一部で見られるものの、営業拠点の格差による結果にバラつきが発生
- 第2四半期はその他不織布で前年の備蓄用特需の反動減が発生

# キット製品 四半期別売上高推移

● プレミアムキットは、売上高・数量構成比ともに過去最高

(単位：百万円、端数：切捨て)



## 64期上期 前年同期比

プレミアム	ブリスター	タイベック
+1,226百万円	△699百万円	△236百万円
123.2%	74.0%	95.0%

## キット製品構成比 (プレミアムキット/キット製品)

	63期2Q	3Q	4Q	64期1Q	2Q	前年同期比
売上高	42.7%	46.0%	48.4%	49.3%	50.9%	+8.1%
数量	28.5%	30.8%	33.0%	33.6%	35.0%	+6.5%

売上高 (KIT製品)

**8,535** (百万円)

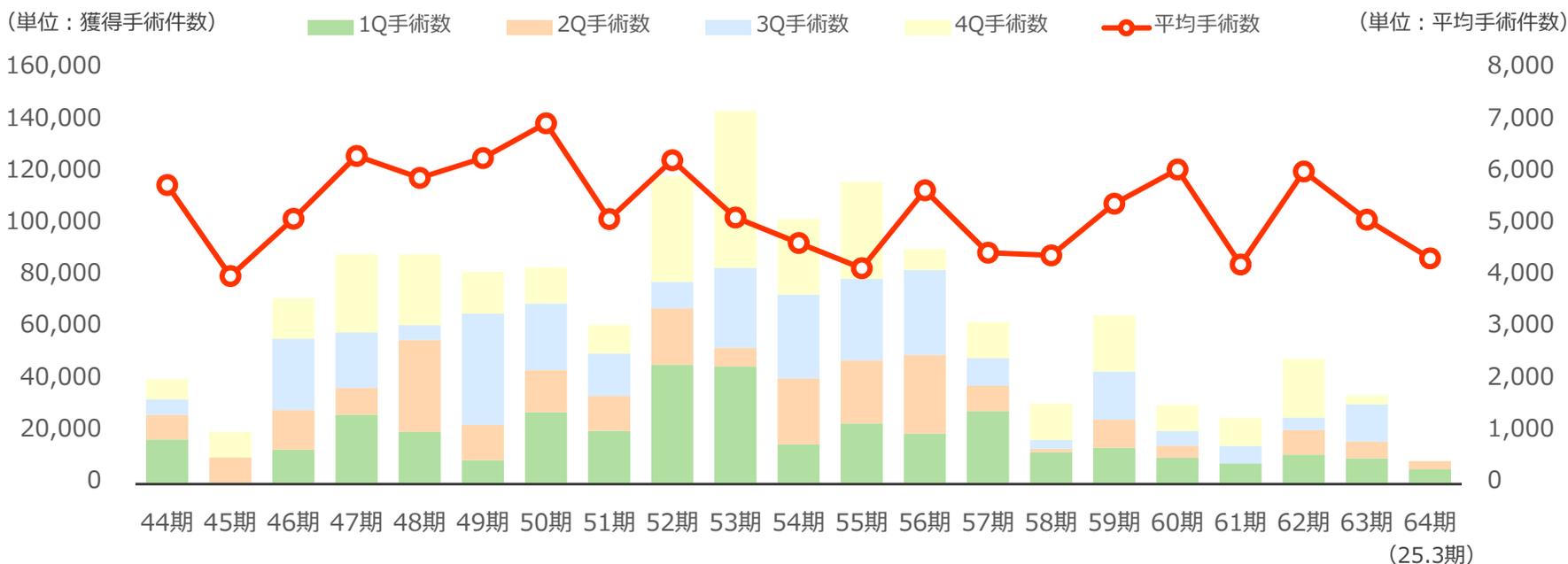
前年比 350百万円 : 104.3%

64期契約施設数

新規 **2** 施設

累計契約施設数

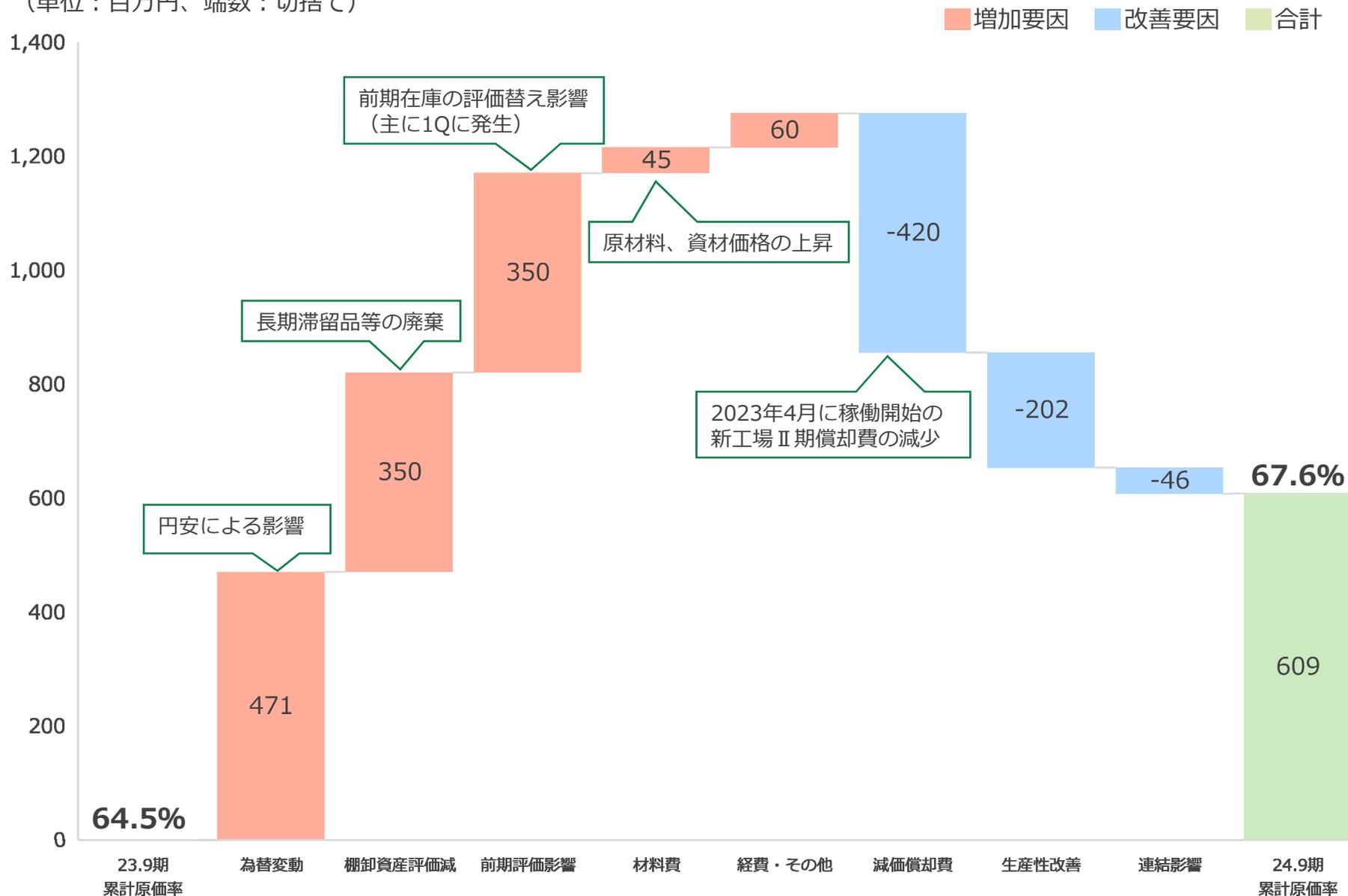
**254**施設



- 64期新規契約病院2件 (DPC特定病院群 (旧Ⅱ群) : 1件、 DPC標準病院群 (旧Ⅲ群) : 1件)
- 64期新規契約病院の手術数は約4,400件
- オペラマスター新規契約は患者が集中する地域の拠点病院に注力
- 時代と共に変化する顧客課題に応じた新規サービスメニューで支援

# 第64期（2025年3月期）上期 原価率 主な増減要因

(単位：百万円、端数：切捨て)



## 第64期（2025年3月期）上期 損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	23.9 63期上期実績		24.9 64期上期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	19,536	100.0%	19,619	100.0%	82	100.4%
売上原価	12,597	64.5%	13,260	67.6%	662	105.3%
売上総利益	6,938	35.5%	6,358	32.4%	△579	91.6%
販売費及び 一般管理費	4,563	23.4%	4,275	21.8%	△287	93.7%
営業利益	2,375	12.2%	2,083	10.6%	△292	87.7%
営業外損益	△2		△47		△45	
経常利益	2,373	12.1%	2,036	10.4%	△337	85.8%
特別損益	39		565		525	
親会社株主 に帰属する 当期純利益	1,732	8.9%	1,867	9.5%	135	107.8%
E P S	71.40円		80.58円			

主な増減科目	前年比
人件費	△233
減価償却費	△45

- 販売管理費：4,275百万円(△287百万円)
  - ▶ 人件費：業績連動に伴う賞与支給総額の減少
- **償却合計：2,831百万円（前年比：464百万円減）**
  - 原価：2,591百万円（前年比：418百万円減）（内新工場Ⅱ期稼働分として1,326百万円）
  - 販管費：239百万円（前年比：45百万円減）
- 設備投資：1,549百万円
- 64期上期配当額：40円（各四半期20円）
  - ▶ 配当総額：970百万円

# 第64期（2025年3月期）経営計画

---



PL

- 顧客接点の強みを生かした独自戦略でトップラインを確保
- 原価
  - 減価償却費の減少は想定通り
  - 為替は不透明な状況が続くものの、為替予約の実行で円安リスクを低減
  - 構造改革の一環で棚卸資産の精査は継続
- 販管費は、人材確保や研究開発費など中計実行のための費用に集中し、その他の経費に関してはコントロールを行う

BS/CF

- キャッシュは次期投資への備えとして保有
- P.T.ホギインドネシアの設備投資、償却の開始予定
- 配当（20円/四半期）は予定通り実施

## 第64期（2025年3月期）損益計算書【計画】

単位：百万円 端数：切捨て	24.3 63期実績		25.3 64期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	39,100		40,850		1,749	104.5%
売上原価	26,037	66.6%	26,780	65.6%	742	102.9%
売上総利益	13,063	33.4%	14,070	34.4%	1,006	107.7%
販売費及び一般管理費	8,894	22.7%	9,380	23.0%	485	105.5%
営業利益	4,169	10.7%	4,690	11.5%	520	112.5%
営業外損益	76		110		33	
経常利益	4,245	10.9%	4,800	11.8%	554	113.1%
特別損益	△169		-		169	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,804	7.2%	3,310	8.1%	505	118.0%
EPS	115.57円		153.52円			

### ● 増収増益計画

#### ● 売上高：

**1,749百万円、+4.5%**

- ・ プレミアムキットは新規獲得で増収
- ・ 新製品 REVICE（単回使用医療機器再製造事業）等での新規を見込む

#### 原価

**65.6%**  
**△1.0pt**

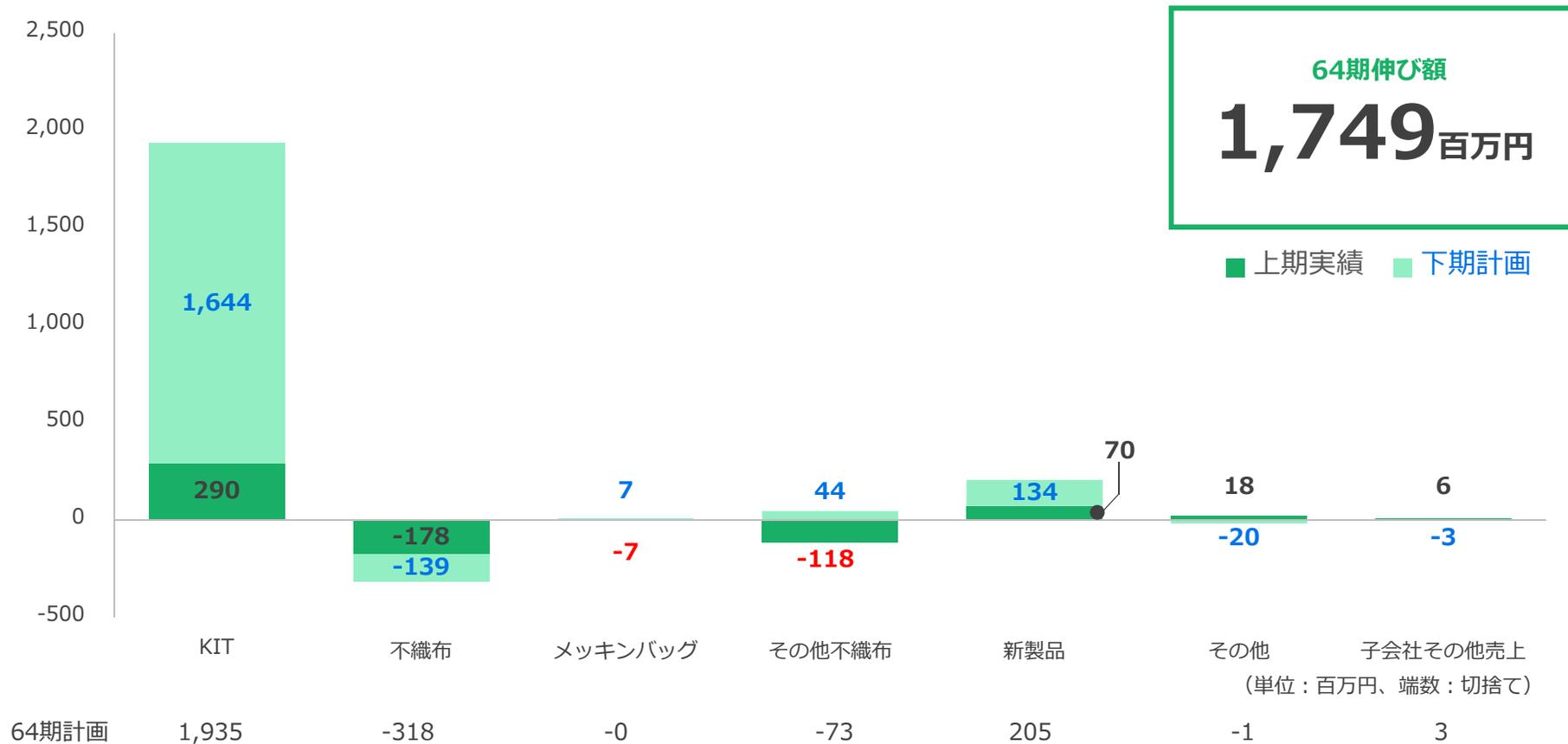
- ： 新工場第Ⅱ期の償却額が減少
- ： 生産性の改善により原価低減を図る
- ： **コーポレートレートは1ドル145円に設定**  
（前年1-3Q135円、4Q150円設定）

#### 販売管理費

**485百万円**  
**+5.5%**

- ： 営業活動に関わる費用、研究開発費の増加
- ： 配送センター等の設備維持のための修繕費用

# 第64期（2025年3月期）主な製品の売上高増減【計画】



- **キット製品**：病院の経営課題に対して貢献できる「プレミアムキット」の新規獲得
- **不織布製品**：ガウン製品の価格改定による離反により、販売数量は漸減
- **その他不織布**：高性能マスク製品の一部特需（備蓄用特需）の反動減を第2四半期に受ける
- **新製品**：REVICE（単回使用医療機器再製造事業）等の新規を見込む

## 第64期（2025年3月期）損益計算書【計画】

単位：百万円 端数：切捨て	24.3 63期実績		25.3 64期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	39,100		40,850		1,749	104.5%
売上原価	26,037	66.6%	26,780	65.6%	742	102.9%
売上総利益	13,063	33.4%	14,070	34.4%	1,006	107.7%
販売費及び 一般管理費	8,894	22.7%	9,380	23.0%	485	105.5%
営業利益	4,169	10.7%	4,690	11.5%	520	112.5%
営業外損益	76		110		33	
経常利益	4,245	10.9%	4,800	11.8%	554	113.1%
特別損益	△169		-		169	
親会社株主 に帰属する 当期純利益	2,804	7.2%	3,310	8.1%	505	118.0%
E P S	115.57円		153.52円			

主な増減科目	前年比
研究開発費	173
荷造運搬費	72
人件費	32
見本費	26
減価償却費	△15

- 販売管理費：9,380百万円(485百万円増)  
営業活動に関わる費用、製品力強化のための研究開発費の増加
- 償却合計：5,777百万円（前年比：830百万円減）
  - 原価：5,220百万円（前年比：814百万円減）内新工場Ⅱ期稼働分として26億円（前年実績33億円）
  - 販管費：557百万円（前年比：15百万円減）
- 設備投資：5,270百万円
- 年間配当額：80円（四半期配当：20円/期）

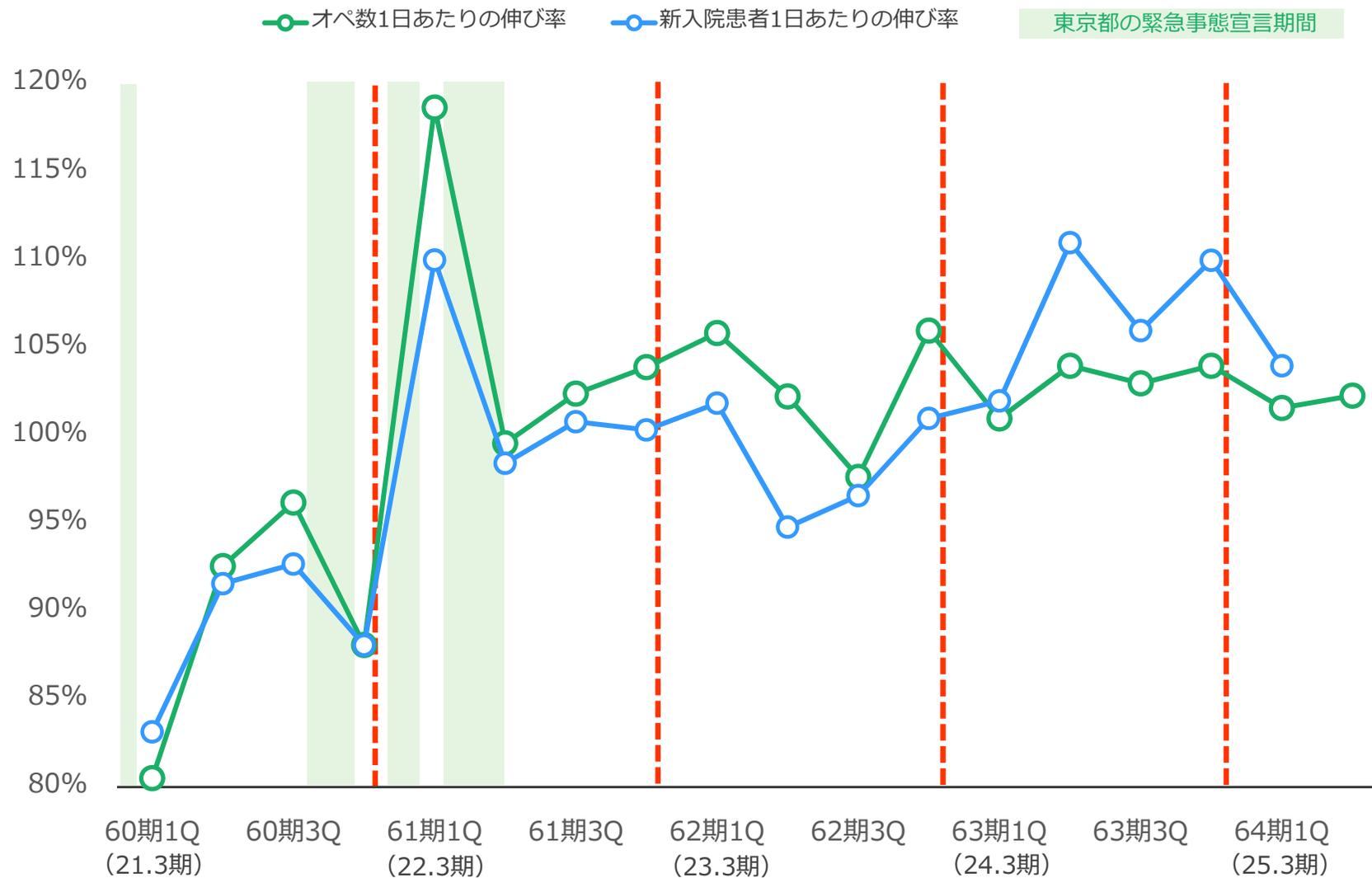
# 參考資料

—



	プレミアムキット	ブリスターキット	タイベックキット (従来キット)
生産場所	<p>新工場 (ムルチ)</p> 		<p>筑波、美浦</p> 
製品形状	<p>手技に合わせて小分けの パッケージにムルチ包装</p>		<p>不織布で包み メッキンバッグにて包装</p>
安全性	<p>自動化生産によるメリット (入れ間違い、異物混入大幅削減)</p>		<p>従来通り</p>
基準	<p>1 症例に必要な材料の 80%以上</p>	<p>1 症例に必要な材料の 80%~30%</p>	<p>使用材料の少ない症例 材料の30%未満</p>

# オペラマスター病院 手術件数の伸び率と新入院患者の伸び率/日



# 会社概要

—



商 号	株式会社ホギメディカル
( 英 文 名 )	HOGY MEDICAL CO., LTD.
本 社 所 在 地	〒107-8615 東京都港区赤坂2丁目7番7号 TEL: 03 (6229) 1300 (代表)
設 立	1961年4月3日
資 本 金	7,123百万円 (2024年3月31日現在)
従 業 員 数	727名 (単体) 1,408名 (連結) (2024年3月31日現在)
支 店 ・ 営 業 所	23拠点26営業所
子 会 社	P.T. ホギインドネシア ホギメディカル アジア パシフィック PTE. LTD.
孫 会 社	P.T. ホギメディカル セールス インドネシア
上 場 取 引 所	東京証券取引所 プライム市場
コ ー ド 番 号	3593
発行済株式総数	22,535,463株 (2024年7月31日現在)
決 算 期	3月31日



ホギメディカルホームページ

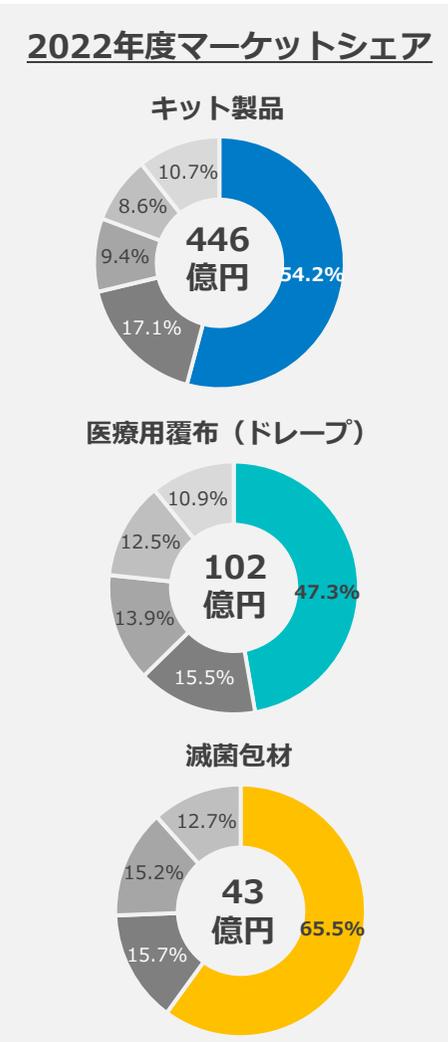
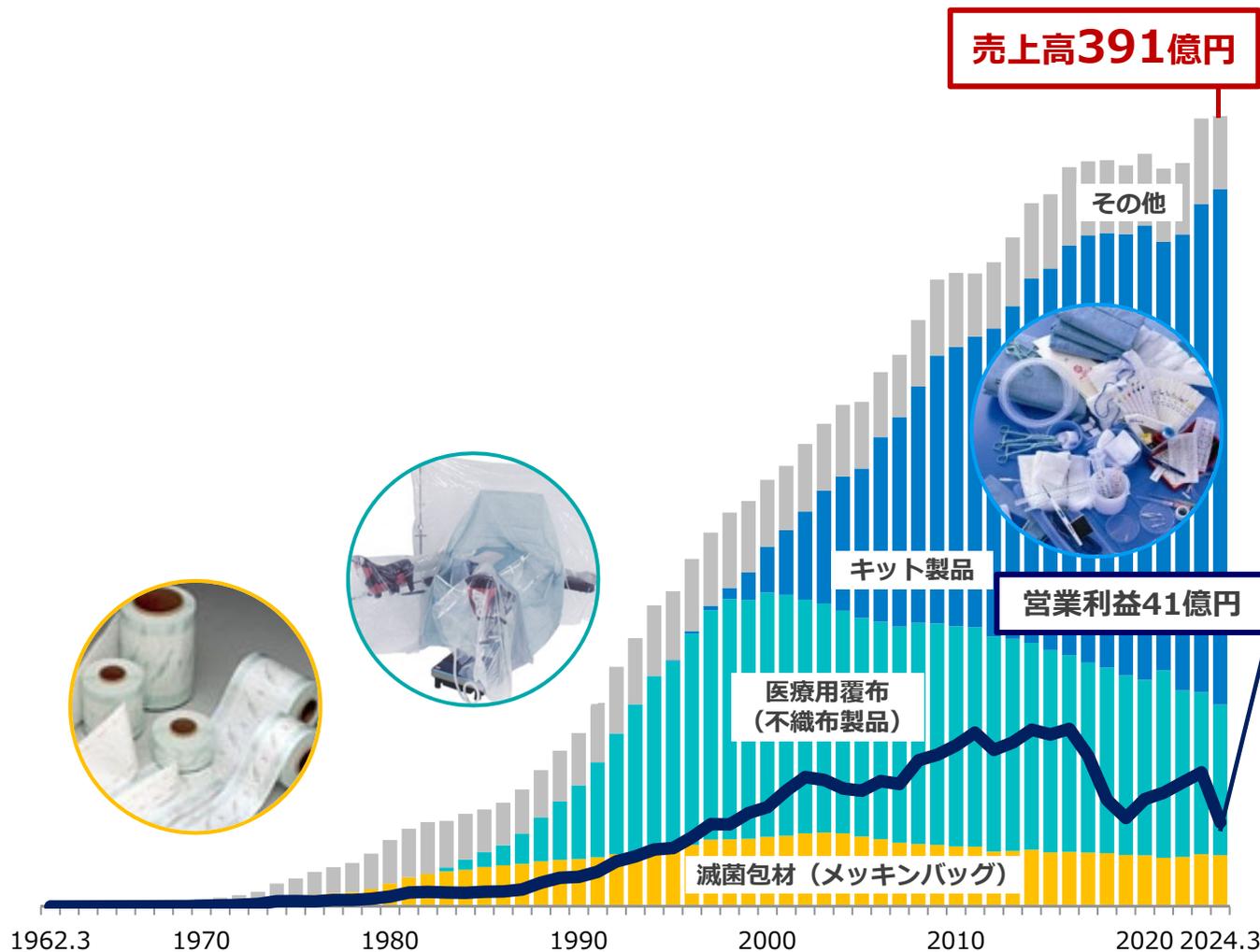
<https://www.hogy.co.jp/>

ホギメディカル

検索

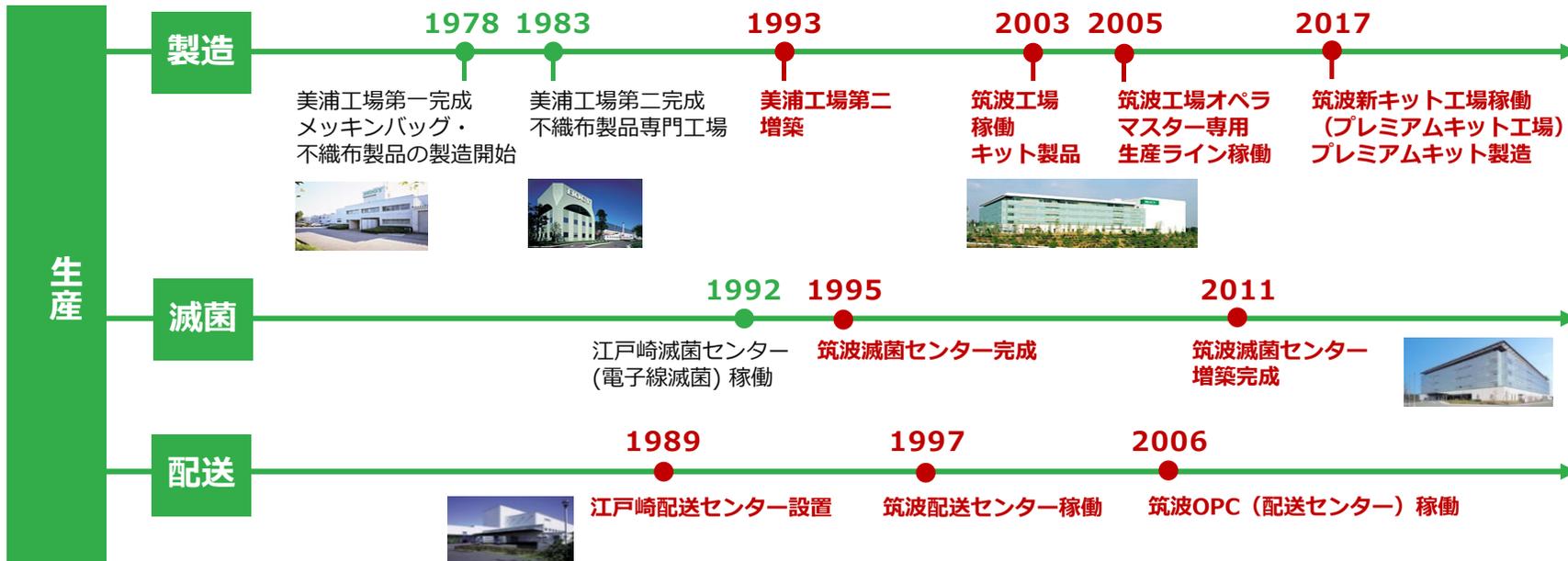


創業より64年、お客様の課題解決を考え、様々な製品で医療現場の「安全と安心」に貢献してきました。約9000施設のお客様にご愛顧いただいております。



注) 1996年以降は連結決算の数値となっています。

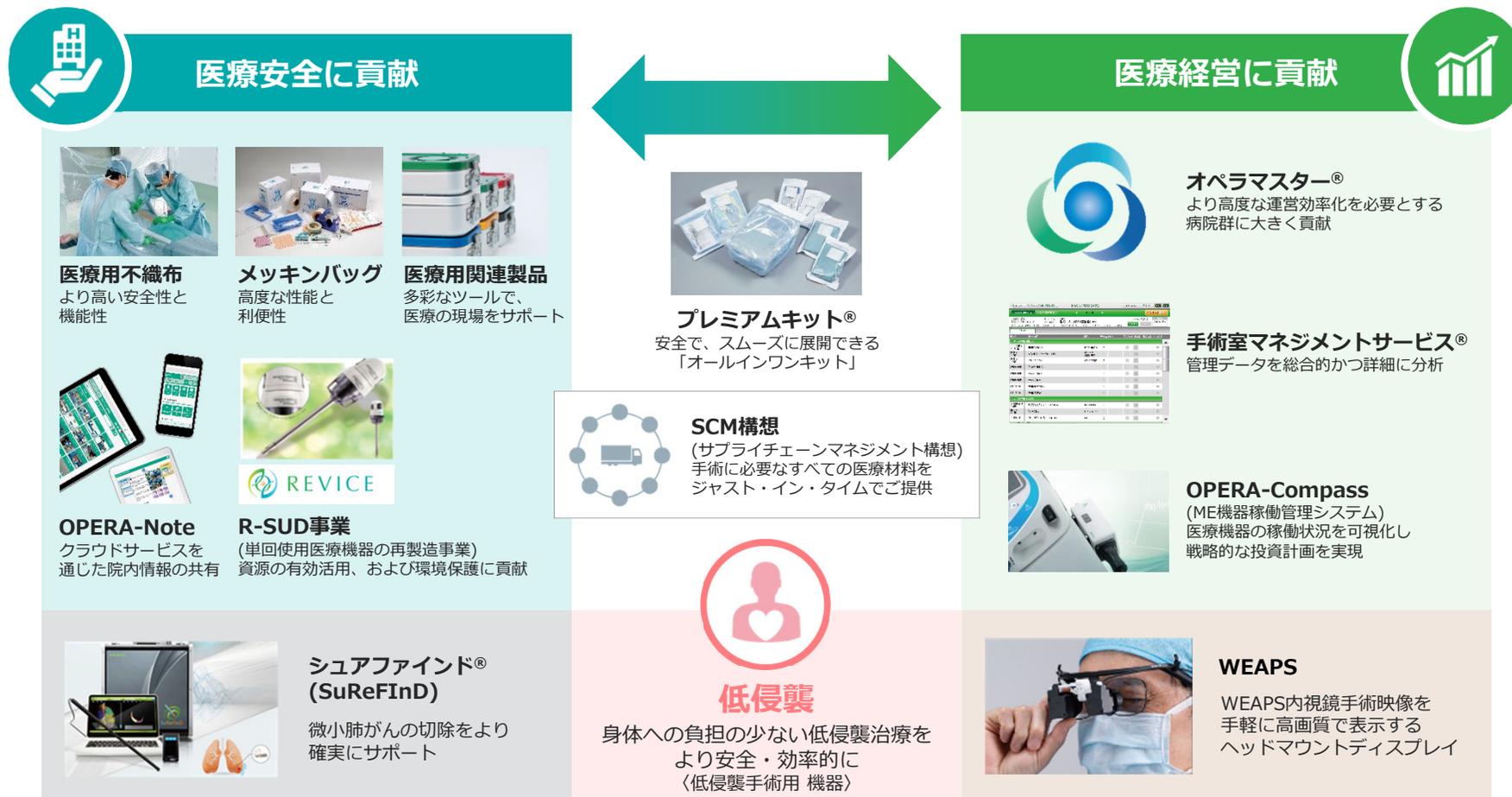
出典：株式会社矢野経済研究所  
『2022-2023年度版 医療・衛生用品の市場実態と製品別需要動向』



赤字は機械化が進んでいる設備

## もっと安全、もっと効率的に（ホギメディカルの事業ドメイン）

医療現場のニーズにきめ細かく対応した様々な製品と安定した供給体制により、  
医療機関における安全で効率的な手術室の運営と病院経営をサポートします。



医療の現場に、未来に、安全を

**HOGY**<sup>®</sup>

